

# 取扱説明書 LED 液晶モニター

このたびは LG モニター製品をお買い求め頂きまして、  
誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
ご理解のうえ正しくお使いください。  
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。  
24GM79G

# 目次

## 3 ライセンス

---

## 4 設置する

---

- 4 付属品を確認する
- 5 サポートされているドライバーとソフトウェア
- 6 各部の名称
- 7 - OSDジョイスティックの使用方法
- 8 持ち運びのご注意
- 9 モニターを設置する
- 9 - スタンドを組み立てる
- 10 - ケーブルホルダーの使用
- 10 - テーブルに設置する
- 11 - スタンドの高さを調節する
- 11 - 見やすい角度に調整する
- 12 - ピボット機能
- 13 - ケンジントン(Kensington)ロック
- 13 - 壁掛け金具を取り付ける
- 14 - 壁への取り付け

## 15 接続する

---

- 15 PCに接続する
- 15 - HDMI接続
- 15 - DisplayPort接続
- 16 外部機器に接続する
- 16 - USBケーブル接続 - PC
- 17 AV機器に接続する
- 17 - HDMI接続
- 17 外部機器に接続する
- 17 - ヘッドホンを接続する

## 18 詳細設定

---

- 18 メインメニューの表示
- 18 - ナビゲーションOSDの機能
- 19 ユーザー設定
- 19 - OSDメニュー

## 23 困ったとき

---

## 25 仕様

---

- 25 24GM79G
- 26 工場出荷時モード
- 26 HDMIタイミング(映像)
- 26 電源LED

# ライセンス

該当するライセンスはモデルによって異なります。ライセンスの詳細については、[www.lg.com](http://www.lg.com)を参照してください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



VESA、VESAロゴ、DisplayPort Complianceロゴ、DisplayPort Complianceロゴ（デュアルモードソース用）はすべて、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

下記の規定は、欧州市場で販売されているもの限り、ERP指令に対応できるモニターに適用します。  
\*このモニターはオンにした後、画像表示の調整動作がない場合は、4時間以内に自動的にオフになります。  
\*この設定を無効にするには、OSDメニューで“Automatic Standby”（自動スタンバイ）を（OFF）にしてください。

# 設置する

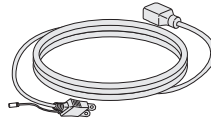
## 付属品を確認する

箱の中身を確認してください。付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

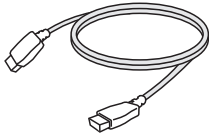
本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



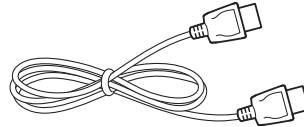
CD-ROM(取扱説明書/  
ソフトウェア収録)  
および各種カード



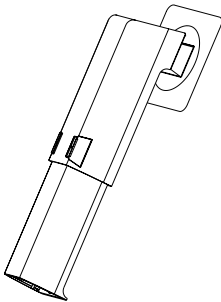
電源コード



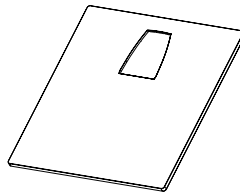
HDMI ケーブル



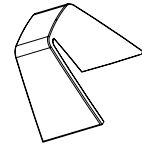
DisplayPort ケーブル



スタンドネック



スタンドベース



ケーブルホルダー



ネジ(4本)

### 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損や怪我は、保証の対象外になります。
- 付属の部品を使用することをお勧めします。
- LG が推奨していない汎用ケーブルを使用すると、画面が映らないことや、画像にノイズが発生する場合があります。

### ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

## サポートされているドライバーとソフトウェア

本製品は LG エレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することが出来ます。

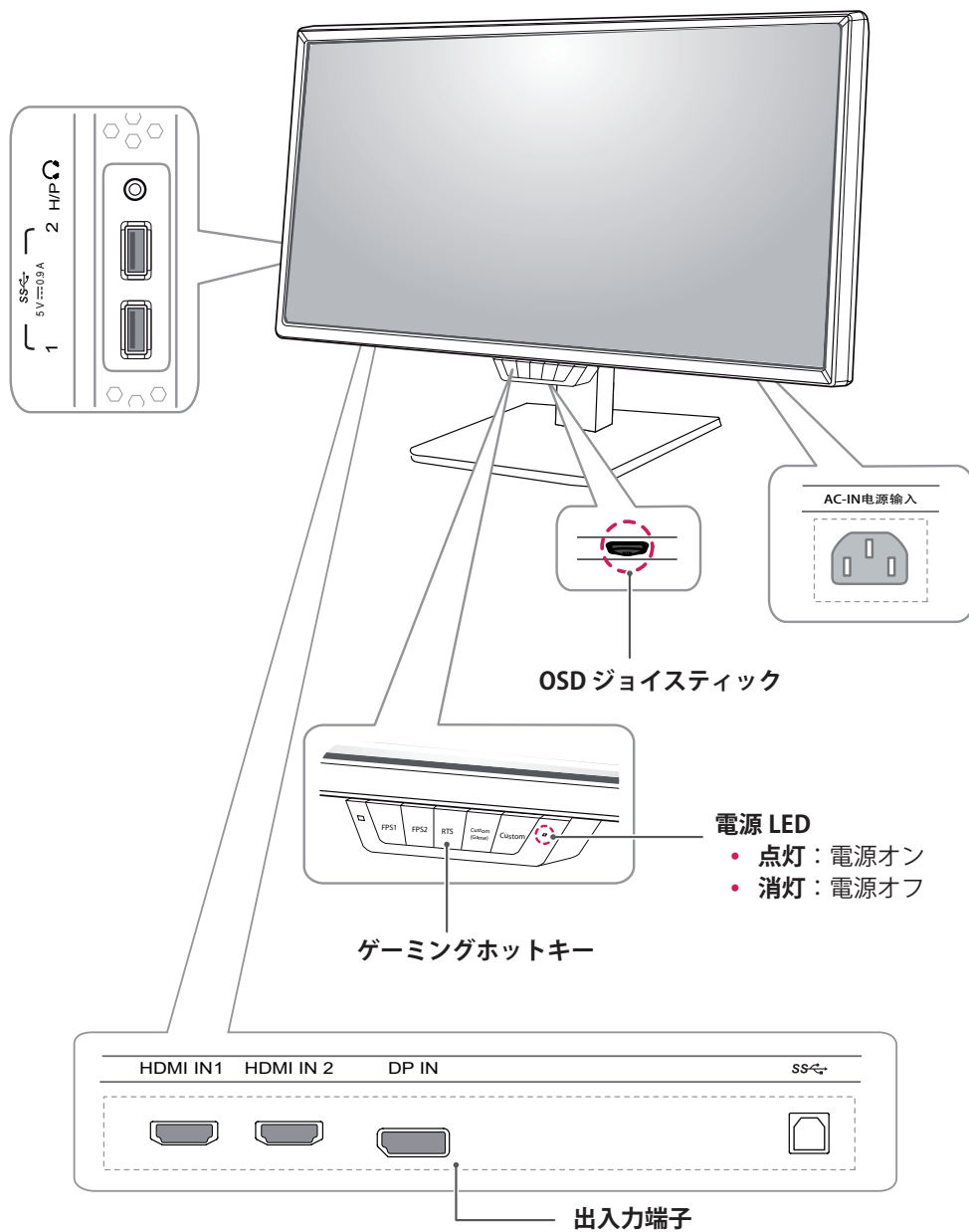
ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位	24GM79G
モニタードライバー	推奨	○
OnScreen Control	推奨	○

- ① LG エレクトロニクスのホームページ ([www.lg.com](http://www.lg.com)) にアクセスします。
- ② ページ最上部の [ サポート ] から [ ソフトウェアダウンロード ] をクリックします。
- ③ [ モデル番号を入力してください。 ] に、モデル番号 ( 製品の型番 ) を入力します。
- ④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用している OS をご確認の上、ファイルを選択してください。

※ ホームページ ([www.lg.com](http://www.lg.com)) のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

## 各部の名称



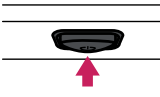

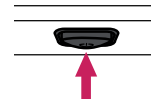


### ヒント

- OSD ジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- OSD : On Screen Display( オンスクリーンディスプレイ)

## OSD ジョイスティックの使用法

OSD ジョイスティックを指で押したり、上下左右に動かすことで各種機能を簡単に操作できます。

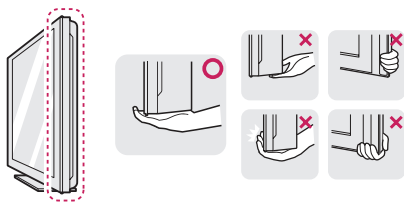
### 基本機能

		<b>電源オン</b>	OSD ジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		<b>電源オフ</b>	OSD ジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
		<b>音量コントロール</b>	OSD ジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

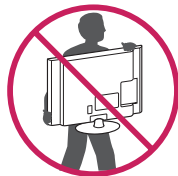
## 持ち運びのご注意

モニターを動かしたり持ち上げる際は、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- モニターのフレームの上下をしっかりと持ってください。パネルを直接つかまないでください。



- モニターを持つ場合、製品の背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。



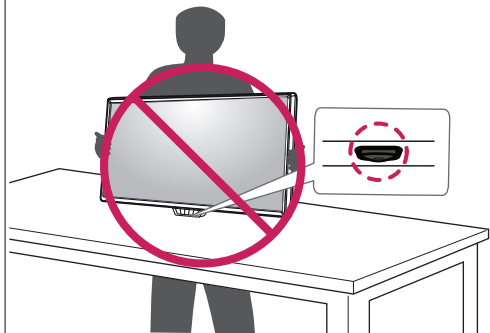
- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

### ⚠ 注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。



- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷または怪我の原因となります。また、OSD ジョイスティックが破損するおそれがあります。



## モニターを設置する

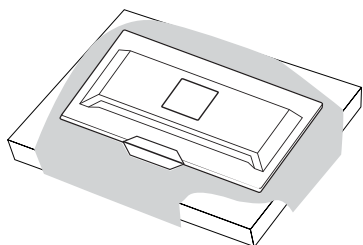
### スタンドを組み立てる



#### 注意

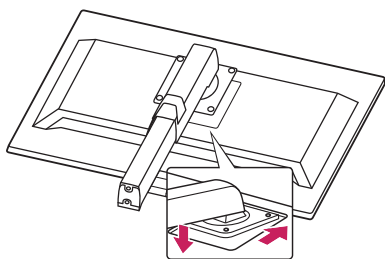
- 画面に傷が付かないように、モニターを置く前に梱包に使用されていた袋や、やわらかい布などを下に敷いてください。

- 1 画面を下に向けて柔らかい布の上にモニターを置きます。

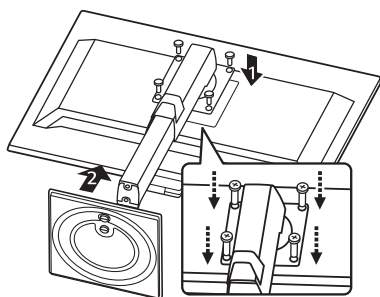


- 2 モニターに**スタンド**を取り付けます。下のイラストのように、まずスタンドを斜めに傾けて、**スタンド結合面**の上部の穴とスタンド上部のツメを合わせます。

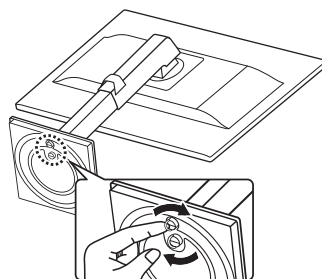
**スタンド結合面**上部の穴に**スタンド**のツメが入ったことを確認して、**スタンド**がモニターと平行になるようにして、**スタンド結合面**下部の穴に、**スタンド**下部のツメを合わせます。



- 3 イラストのように、スタンドとモニターを固定します。付属のネジをプラスドライバーで4か所時計回りに締めて固定します。



- 4 **スタンドネック**に**スタンドベース**を取り付けます。スタンドベース底面のネジをコインまたは手回しで時計回りに締めて固定します。



#### 注意

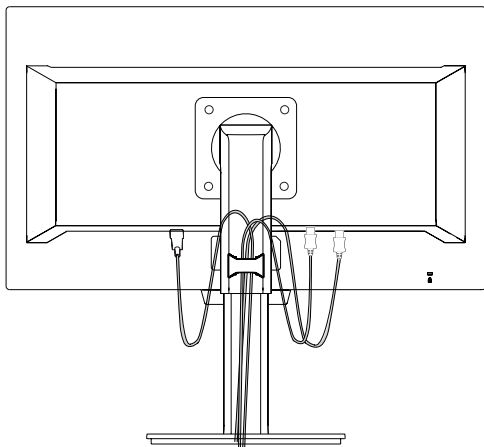
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて、落下によりケガをすることがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネルには触れないでください。液晶パネルが破損するおそれがあります。スタンドネックまたはフレーム部分をつかんでください。
- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないと、モニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。また、OSD ジョイスティックが破損するおそれがあります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が故障する可能性があります。
- ネジを締めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。

#### ヒント

- モニターからスタンドを取り外すときは、組立の手順を逆に行ってください。

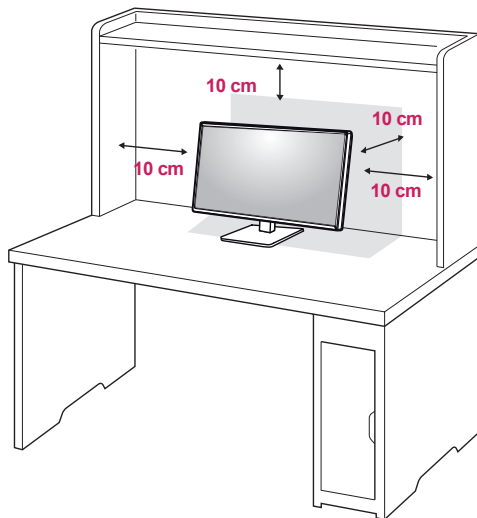
## ケーブルホルダーの使用

ケーブルホルダーをスタンドネックに取り付けて、接続したケーブルをまとめます。

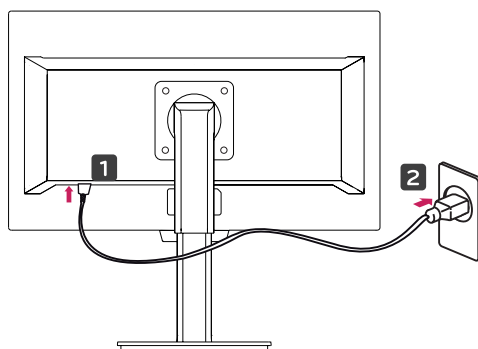


## テーブルに設置する

- 1 モニターのを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。  
十分な通気性を確保するため、背後および周囲 **10 cm** 以上の空間を空けて設置してください。



- 2 AC/DC アダプタと電源コードを接続します。  
モニター本体に AC/DC アダプタを接続して、電源プラグをコンセントに差し込みます。



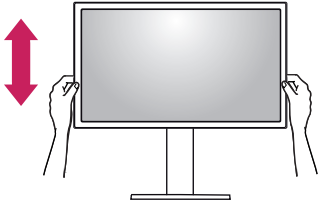
- 3 モニター本体下部の OSD ジョイスティックを押して電源をオンにします。

### ⚠ 注意

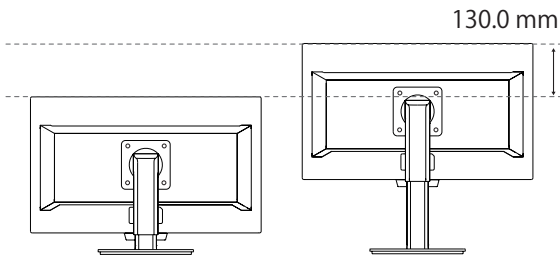
- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電や故障のおそれがあります。

## スタンドの高さを調節する

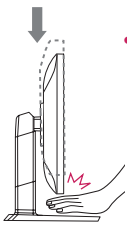
- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



- 3 最大で 130.0 mm の高さに調整できます。



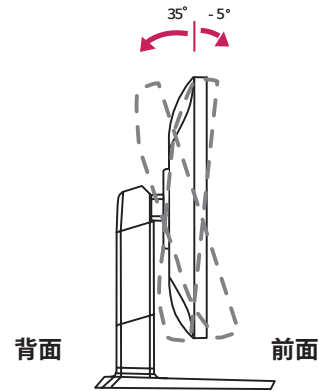
### 警告



- 画面の高さを調整するとき、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがありますので、スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

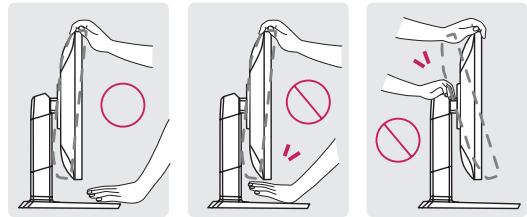
## 見やすい角度に調整する

- 1 スタンドに取り付けたモニター本体を直立させた状態にします。
- 2 画面を見やすい角度に調整します。画面は顔がやや下を向く高さに設置し、目線に対して水平になるように角度 (-5° ~ 35°) を調整することをお勧めします。

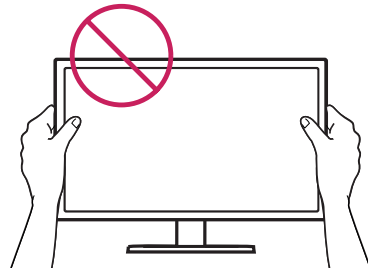


### 注意

- モニターの角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんでケガをする恐れがあります。

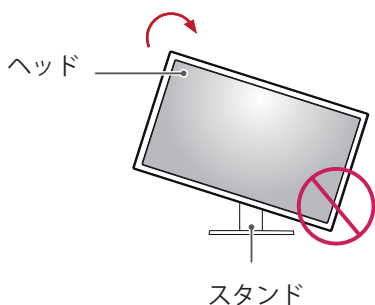


- 画面の角度を調整するときは、フレームを持ち、液晶パネルには触れないようにしてください。



## ピボット機能

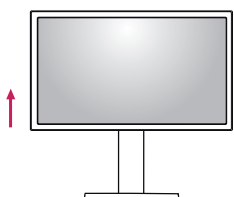
ピボット機能により、モニターを時計回りに 90° 回転できます。



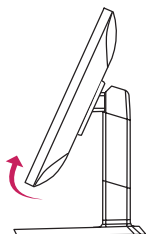
### 注意

- ピボット機能を使用してモニターを回転する場合は、スタンドベースに傷が付くのを防ぐため、スタンドがモニターに接触しないようにしてください。

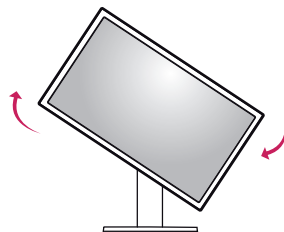
- 1 モニターの高さを一番上まで上げます。



- 2 イラストのように、モニターが上を向くように角度調整します。



- 3 モニターを時計回りに回転します。



- 4 モニターを 90 度回転させて、角度、高さを調整します。



### ヒント

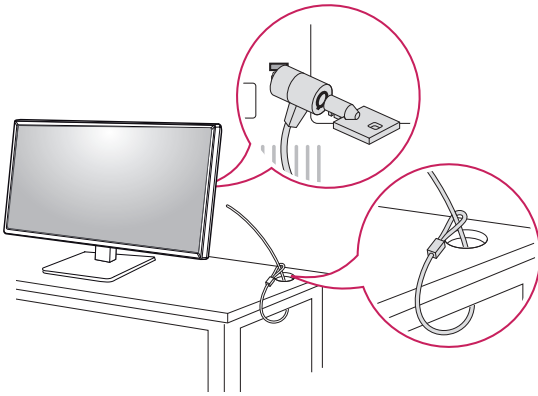
- オートピボット機能はサポートされていません。
- yyWindows オペレーティングシステムには、表示内容を回転するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転できます。ただし、一部の Windows のバージョンやグラフィックカードドライバでは、これらのショートカットキーの割り当てが異なる場合や、サポートされていない場合があります。
- Windows では、以下のショートカットキーで表示内容を回転できます。
  - 0° : Ctrl + Alt + 上向き矢印 (↑)
  - 90° : Ctrl + Alt + 左向き矢印 (←)
  - 180° : Ctrl + Alt + 下向き矢印 (↓)
  - 270° : Ctrl + Alt + 右向き矢印 (→)

## ケンジントン (Kensington) ロック

ケンジントンロックを利用することにより盗難防止に効果があります。

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの背面にあります。取付けと使用方法の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム付属の取扱説明書を参照、または、<http://www.kensington.com> をご覧ください。

ケンジントンロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。



### ！ メモ

- ケンジントンロックのお求めは最寄りのPCショップや家電量販店にお問い合わせください。

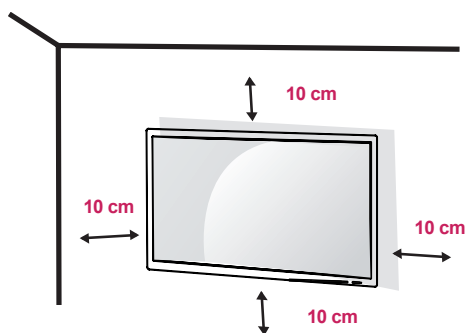
## 壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。

- 1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
- 2 スタンドを固定しているネジ（4本）を反時計回り（左回り）に回して外します。
- 3 モニター背面に壁掛け用金具を置き、モニターのネジ穴に合わせます。
- 4 ドライバーで4箇所ネジ止めして、モニターと金具を固定します。

## 壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、背後および周囲 10 cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。

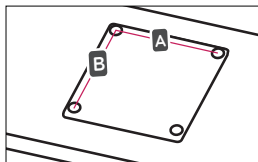


モニターを壁に取り付ける場合、モニターの背面に壁掛けアームを取り付けます。壁掛け金具（別売り）を使用してモニターを設置する場合は、落とさないよう注意して取り付けてください。

- 1 ネジは標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 2 規格外のネジを使用し、製品が損傷及び落下した場合は保証の対象外となります。

壁掛け (A x B)	100 x 100
標準ネジ	M4 x L10
ネジの本数	4

- 壁掛け (A x B)



### 注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してけがや感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大な怪我をする恐れがあります。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジは標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷または落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。

### メモ

- 壁掛け用金具には、設置説明書と必要な部品が付属されています。
- 壁掛け用金具は別売品です。追加の付属品については、PC専門店や家電量販店、通販サイトなどでご購入できます。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛け用金具付属の設置説明書を参照してください。

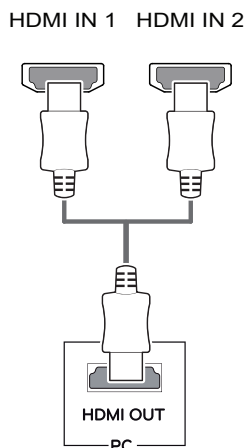
# 接続する

## PC に接続する

本機は、プラグアンドプレイに対応しています。  
\* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れたら、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。

## HDMI 接続

PC とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、**[入力]** から接続している HDMI 端子 (**[HDMI1]** または **[HDMI2]**) を選択します。

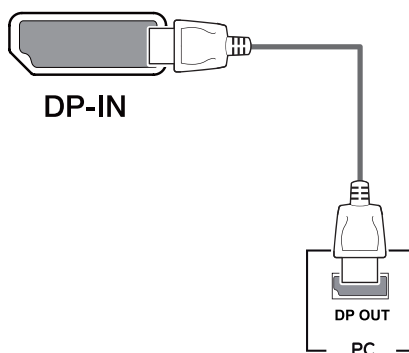


### 注意

- PC を HDMI で接続した場合、まれに互換性の問題が発生することがあります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。保証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。
  - ハイスピード HDMI ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピード HDMI ケーブル

## DisplayPort 接続

PC とモニターを DisplayPort 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを DisplayPort ケーブルで接続します。OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、**[入力]** から **[DisplayPort]** を選択します。



### 注意

- PC の DisplayPort のバージョンによっては、ビデオ出力または音声出力に対応していないことがあります。
- LG が推奨していない汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかつたり画像にノイズが発生したりする場合があります。

## 外部機器に接続する

### USB ケーブル接続 - PC

USB ポートは、USB ハブとして使用できます。

#### ヒント

- 製品を使用する前に、最新の Windows OS サービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 周辺機器は別売りです。
- キーボード、マウス、USB デバイスを USB ポートに接続できます。



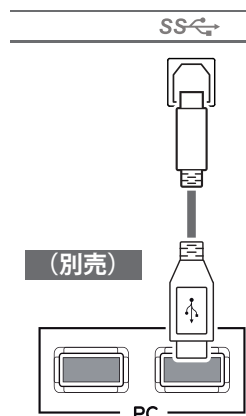
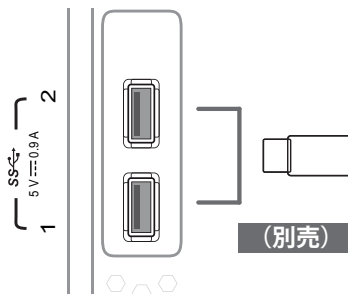
#### 注意

##### USB デバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされている USB デバイスや独自のドライバーを使用する USB デバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部の USB デバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のある USB ハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。  
(供給電力が十分でない場合、USB デバイスが正しく認識されないことがあります)

USB 3.0 を使用する場合は、A - B タイプ USB 3.0 ケーブルを PC に接続します。

USB 1、2 ポートに接続された周辺機器を PC から操作できます。

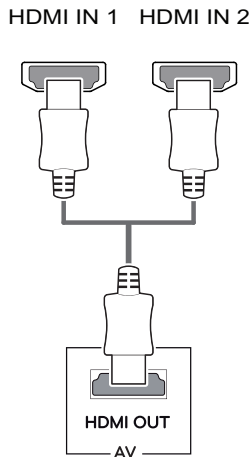


## AV 機器に接続する

### HDMI 接続

AV 機器とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。

OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、[入力] から接続している HDMI 端子 ([HDMI1] または [HDMI2]) を選択します。



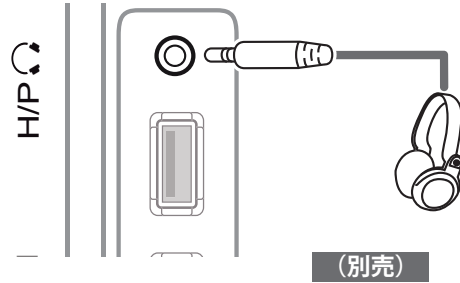
#### ⚠ 注意

- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。保証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。
  - ハイスピード HDMI ケーブル、
  - イーサネット対応ハイスピード HDMI ケーブル

## 外部機器に接続する

### ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子 (ミニプラグ) に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。

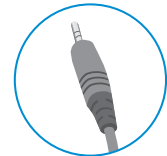


#### ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L 字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ



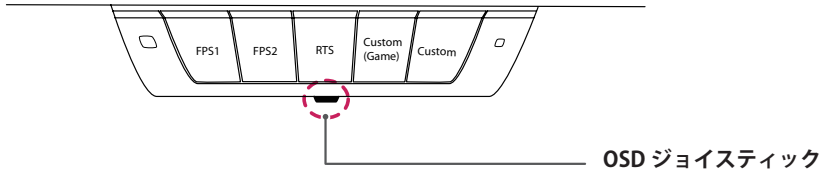
ストレートタイプ

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。

# 詳細設定

## メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にある OSD ジョイスティックを押します。
- 2 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼)、左右 (◀/▶) に倒して各種設定を行います。
- 3 OSD ジョイスティックをもう一度押すとナビゲーション OSD が終了します。



ボタン	メニューの状態	説明
	ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
	ナビゲーション OSD 表示時	メインメニューが終了します。 (ボタンを押し続けると、モニターの電源がオフになります。この方法では、OSD がオンのときも含め、いつでもモニターをオフにできます)
	◀ ナビゲーション OSD 非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
	◀ ナビゲーション OSD 表示時	[入力] に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	▶ ナビゲーション OSD 非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
	▶ ナビゲーション OSD 表示時	[Menu] に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▲ ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
	▲ ナビゲーション OSD 表示時	モニターをオフにします。
	▼ ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
	▼ ナビゲーション OSD 表示時	[ゲーミングモード] に移動し、ゲームに適したモードに素早く切り替えることができます。

## ナビゲーション OSD の機能



メインメニュー	説明
Menu	設定メニューを表示します。
ゲーム	ゲームに適したモードに素早く切り替えることができます。
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターがオフになります。
終了	メインメニューを終了します。

## ユーザー設定

### OSD メニュー

- 1 ナビゲーション OSD はモニター底面にある OSD ジョイスティックを押します。
- 2 OSD ジョイスティックを右 (▶) に倒して、[Menu] を選択すると、OSD メニューが表示されます。
- 3 OSD ジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 4 目的の設定項目上で OSD ジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
- 5 OSD メニューを終了させる場合は、OSD ジョイスティックを左 (◀) に数回 (OSD メニューの階層によります) 倒します。
  - OSD メニューの右下に OSD ジョイスティックの操作方法が表示されます。



クイック設定



入力



画質



全般



#### 注意

- 実際のモニターの OSD (オンスクリーンディスプレイ) は、アップデート等により、本取扱説明書と多少異なる場合があります。

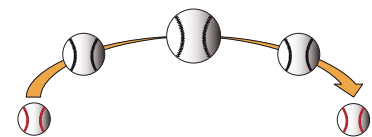
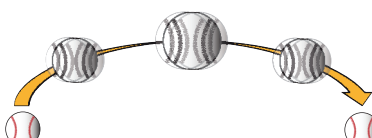

#### [クイック設定] の設定メニュー

Menu > クイック設定	説明
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。(ピクチャーモードが [ユーザー設定]、[ユーザー設定(ゲーム)] 以外に設定されているときは [コントラスト] の調整は出来ません。)
コントラスト	
音量	ヘッドホン端子に接続した外部音声出力機器の音量を調節します。  <b>ヒント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 音量はメニューが非表示のときに OSD ジョイスティックを右 (▶) に倒すと大きくなり、左 (◀) に倒すと小さくなります。</li> <li>• 前 (▼) に倒すとミュートのオン/オフができます。</li> </ul>

Menu > 入力	説明	
入力選択	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
	<b>全画面</b>	映像ソースの解像度に関係なく画面全体に表示します。
	<b>オリジナル</b>	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
	<b>1:1</b>	映像ソースの解像度で表示します。
	<b>ヒント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の推奨解像度 (1920 x 1080) で表示している場合は、[全画面]、[オリジナル]、[1:1] を設定していても、表示される映像は変わりません。</li> <li>• FreeSync の設定が [オン] のときは [1:1] に設定できません。( [画質] → [ゲーム機能設定] → [FreeSync] で FreeSync のオン、オフが設定できます。)</li> </ul>	

Menu > 画質	説明	
ピクチャーモード	<b>ユーザー設定</b>	[画像調整] で設定した色合いを表示します。
	<b>ブルーライト低減モード</b>	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで [明るさ] の調節ができます。
	<b>フォト</b>	写真の閲覧に適した画質を表示します。

ピクチャーモード	シネマ	動画の閲覧に適した画質を表示します。		
	色覚調整	P型及びD型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。		
	FPS モード 1	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。		
	FPS モード 2	ブラックスタビライザーの値が <b>[FPS モード 1]</b> より強く設定されています。画面が暗いFPS ゲームに最適化されたモードです。		
	RTS モード	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。		
	ユーザー設定 (ゲーム)	[ <b>ゲーム機能設定</b> ] で設定した値を適用します。		
<p><b>ヒント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ピクチャーモードを変更したときに、映像が乱れたり、OSの解像度が変わってしまう場合があります。</li> </ul>				
画像調整	明るさ	画面の明るさを調整します。		
	コントラスト	画面のコントラストを調整します。		
	シャープネス	画面のシャープさを調整します。		
	SUPER RESOLUTION+	High	最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。高品質な動画やゲームにも効果的です。	
		Middle	Low と High の中間レベルに超解像をかけ画質を最適化します。	
		Low	滑らかで自然な画質に最適化して表示します。動きの遅動画や静止画像に効果的です。	
		オフ	超解像 をオフにします。	
	<p><b>ヒント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能は解像度の低い映像を鮮明に表示する機能です。通常テキストやデスクトップのアイコンなどを表示する場合、鮮明になりすぎて、かえって見づらくなる場合があります。</li> </ul>			
	ブラックレベル	モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。(HDMI 接続のみ)		
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。	
Low		暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。		
DFC		オン	明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。	
		オフ	[DFC] 機能を無効にします。	
ゲーム機能設定	応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。標準的な環境の場合、[普通]を使用することをお勧めします。動きの速い映像を表示させるときは[速い]を使用することをお勧めします。[速い]に設定すると、残像(オーバーシュート)が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。		
		速い	パネルの応答速度を高速にします。	
		普通	パネルの応答速度をやや速くします。	
		遅い	パネルの応答速度を少し速くします。	
		オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。	
	FreeSync	AMD FreeSync™テクノロジーは、映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自動的に同期させる機能です。フレームレートが一定でない映像(ゲームなど)を表示したときに発生するティアリング(ちらつき)やスタッタリング(カクつき)を抑えることができます。		
		<p><b>ヒント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能を使用するためには、対応 APU を搭載した PC または GPU を搭載したグラフィックカードが必要です。</li> <li>FreeSync は DisplayPort、HDMI いずれも対応します。</li> <li>詳細な情報は、AMD 社の公式サイトをご覧ください。(検索エンジンで「FreeSync」で検索して AMD 社の公式サイトを参照してください。)</li> <li>FreeSync と 1ms Motion Blur Reduction は同時に有効することができません。</li> </ul>		
		オン	[FreeSync] 機能を有効にします。	
		オフ	[FreeSync] 機能を無効にします。	

ゲーム機能設定	ブラックスタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、減らすと明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。		
	1ms Motion Blur Reduction	オン	この機能は動きの速い動画を再生したときに発生する " モーションブラー (ブレ)" を最小限に抑える機能です。この機能を有効にする前に OS 上で解像度を 1920 x 1080、リフレッシュレートを 144Hz に設定することをお勧めします。  この機能リフレッシュレートが 60Hz、100Hz、120Hz、144Hz で使用可能です。	
		オフ	1ms Motion Blur Reduction をオフにします。 	
	<p> <b>ヒント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能は、動画のブレを軽減するために、バックライトを制御するため、輝度が低下します。</li> <li>1ms Motion Blur Reduction と FreeSync 機能は、同時に使用できません。</li> <li>この機能はゲーム用の機能です。</li> <li>ゲーム以外の用途で使用するときは、<b>[ オフ ]</b> に設定することをお勧めします。</li> </ul>			
	クロスヘア	FPS(First Person Shooting) ゲームのプレイ用に、画面中央に <b>クロスヘア</b> (十字マーク) を表示します。 <b>クロスヘア</b> はゲームタイトルに応じて適したデザインを4種類から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>モニターがオフまたは省電力モードになると、クロスヘア機能は自動的にオフになります。</li> </ul>		
カラー調整	ガンマ	モード 1	ガンマ値を補正します。 <b>[モード 1]</b> に設定すると中間色が明るく、 <b>[モード 3]</b> に設定すると中間色を暗く表示されます。	
		モード 2		
	モード 3			
	モード 4	ガンマ設定を調整する必要がない場合は、モード 4 を選択してください。		
	色温度	ユーザー設定	【赤】、【青】、【緑】で設定したお好みの画質を表示します。	
		Warm (暖色)	画面の色温度を暖色系 (より赤い) に設定します。	
		Medium (中間)	画面の色温度を中間に設定します。	
		Cool (寒色)	画面の色温度を寒色系 (より青い) に設定します。	
赤	RGB 各色の強弱を手動で設定します。			
緑				
青				
6色相環	6色相環 (赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー) の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。			
	色合い	各色の色相を調節します。		
	彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。		
ピクチャーモード初期化	映像設定を初期化しますか？			
	No	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。		
	Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。		

Menu > 全般	説明	
言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
SMART ENERGY SAVING	High	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を有効にして、より効果的に消費電力を抑えます。
	Low	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を有効にして、消費電力を抑えます。
	オフ	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を無効にします。
電源 LED	OSD ジョイスティックの前にある電源ランプのオン/オフを切り替えます。	
	オン	電源ランプが自動でオンになります。
	オフ	電源ランプがオフになります。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
自動スタンバイ	一定時間画面に動きがないと、モニターを自動的にオフにする機能です。自動オフ機能の時間を設定できます ([オフ]、[4 時間後]、[6 時間後]、[8 時間後])。	
HDMI 互換モード	HDMI 互換モード機能は HDMI 2.0 をサポートしていない従来の機器を認識することができます。	
	オン	[HDMI 互換モード] を有効にする。
	オフ	[HDMI 互換モード] を無効にする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> <b>ヒント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続されたデバイスは [HDMI 互換モード] をサポートしない場合、画面または音声は正常に動作できない可能性があります。</li> </ul> </div>		
DisplayPort 1.2	DisplayPort 1.2 を有効または無効にします。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>ヒント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DisplayPort 入力端子に DisplayPort™ v1.2 を適用するかを設定します。グラフィックカードが v 1.2 に対応していない場合は、[使用しない] に設定してください。</li> <li>DisplayPort 1.2 が無効の時は、DisplayPort 端子のバージョンは v1.1 になります。</li> <li>FreeSync がオンのときは、この設定は無効になります。</li> </ul> </div>	
OSD ロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
	オン	設定可能な項目を制限します。 [オン] にしても設定が可能な項目は以下の通りです。 [入力] [クイック設定] > [明るさ] / [コントラスト] / [音量] [全般] > [OSD ロック] 上記以外の項目を設定するときは、[OSD ロック] をオフにしてください。
	オフ	OSD ロックを無効にします。
リセット	設定をリセットしますか？	
	No	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。
	Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

**ヒント**

- [SMART ENERGY SAVING] を有効にすると、映像によってモニターの輝度が自動的に変わります。

## 困ったとき

画面に何も表示されない。	
画面に何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。</li> <li>モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。</li> </ul>
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。</li> <li>画面の設定が暗くなっている可能性があります。OSDメニューで明るさ、コントラストを調整してみてください</li> </ul>
電源ランプが点滅している	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCがスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PCの省電力モードを解除させてください。</li> <li>PCの電源が入っているか確認してください。</li> </ul>
画面に「OUT OF RANGE (範囲超過)」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>PC(グラフィックカード)から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力されるOSの解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。</li> <li>本説明書の「製品仕様」を参照して、OS上で適切な周波数または、解像度に設定してください。</li> </ul>
画面に「NO SIGNAL」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PCまたはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。</li> <li>入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから右に倒して[入力]を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。</li> </ul>

一部の OSD メニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSD がロックされています。[Menu] &gt; [全般] の順に選択し、[OSD ロック] を [オフ] に設定します。</li> <li>現在の接続環境または表示環境に適合していない設定項目は、設定できなくなります。</li> </ul>

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。</li> <li>モニターの映像を長時間使用する場合は、OSでスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。</li> </ul>

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される。	
画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択した解像度が HDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を 1080P または推奨解像度に変更してください。</li> </ul>

### ヒント

- 垂直周波数**：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位は Hz です。
- 水平周波数**：横線 1 本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の本数は、1 を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位は kHz です。

## ヒント

- [コントロールパネル]>[画面]>[設定]の順に選択して、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される（最適な）解像度に設定してください。
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのコンピュータまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、コンピュータまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。

## 表示色が適切に表示されない。

色が正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。</li> <li>• グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。※ グラフィックカードの確認をする際は必ず PC の電源をコンセントから抜いて確認してください。</li> <li>• [コントロールパネル]▶[画面]▶[設定](OSによって異なります)から、OS上の表示色を 24bit または 32bit の True Color に設定してください。</li> </ul>
画面上に小さな点が表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け（ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。</li> </ul>

## 音声が出力されない

ヘッドホン端子に接続した音声機器に音声が出力されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヘッドホン端子正常に接続されていることを確認してください。</li> <li>• OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。（18 ページまたは 19 ページ）</li> <li>• PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で [コントロールパネル]&gt;[ハードウェアとサウンド]&gt;[サウンド]の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。</li> <li>• Windows や PC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。</li> </ul>
----------------------------	---

# 仕様

## 24GM79G

LCD 画面	タイプ	フラットパネルアクティブマトリクス TFT LED LCD アンチグレア コーティング
	ピクセルピッチ	0.27675 mm x 0.27675 mm
解像度	最大解像度	1920 x 1080 @ 144 Hz
	推奨解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
映像信号	水平周波数	30 kHz ~ 160 kHz
	垂直周波数	56 Hz ~ 144 Hz
入出力端子	HDMI IN1, HDMI IN2, DP(DisplayPort) IN, H/P(Headphone) OUT, USB UP, USB 1/2	
電源入力	100 V ~ 50 / 60 Hz 1.2 A	
消費電力 (標準)	オンモード: 19 W 標準 (ENERGY STAR® 標準) * 32 W 標準 (出力条件) * スリープモード ≤ 0.5 W オフモード ≤ 0.3 W	
環境条件	動作条件	温度: 0° C ~ 40° C、湿度: < 80%
	保管条件	温度: -20° C ~ 60° C、湿度: < 85%
寸法	モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)	
	スタンド装着時	567.6 mm x 388.7 mm x 240 mm
	スタンドなし	567.6 mm x 354 mm x 57.3 mm
重量 (パッケージを除く)	スタンド装着時	5.9 kg
	スタンドなし	3.8 kg

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

\* 消費電力は操作条件や設定等によって変わります。

\* オンモードの電力消費量は、ENERGY STAR® テスト標準に準じて測定されます。

\*\* オンモードの電力消費は、LG Electronics の試験規格 (最大解像度で、白を画面全体に出力した状態) で測定されます。

## 工場出荷時モード

(プリセットモード、HDMI/ DisplayPort PC)

表示モード (解像度)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
720 x 400	31.468	70.08	-/+	
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
640 x 480	37.5	75	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
800 x 600	46.875	75.0	+/+	
800 x 600	76.302	119.972	+/-	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1024 x 768	60.123	75.029	+/+	
1024 x 768	97.551	119.989	+/-	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1280 x 1024	130.035	119.958	+/-	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
1920 x 1080	137.26	119.98	+/-	
1920 x 1080	158.11	144	+/-	

## HDMI タイミング (映像)

工場サポートモード (プリセットモード)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	備考
480p	31.47	60	
480p	31.47	60	
576P	31.25	50	
720p	37.5	50	
720p	45.0	60	
1080p	56.25	50	
1080p	67.5	60	
1080p	112.5	100	
1080p	135	120	

## 電源 LED

モード	LED の色
オンモード	白色点灯
スリープモード	オフ
オフモード	オフ



本製品は家庭用電気製品の EMC 要件(クラス B)を満たしており、家庭使用向けです。  
製品のモデルとシリアルナンバーは製品の背面と側面にあります。  
サービスの場合に必要があるからそれらを記録してください。

モデル \_\_\_\_\_

シリアル \_\_\_\_\_

本製品に搭載された GPL、LGPL、MPL およびその他のオープンソースライセンスの下で開発されたソースコードを取得するには <http://opensource.lge.com> を参照してください。

ソースコードに加えて、すべての参照許可の条件、保証の免責事項と著作権通知をダウンロードできます。